

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会
平成30年度事業報告書
(平成30年4月1日より平成31年3月31日まで)

I 公益事業

1、クラシック音楽普及事業（定款第4条第1号関係）

(1) 子ども青少年クラシック音楽普及プロジェクト（Y-Classic）〈フェスティバルの開催〉

[旧 JAPAN CLASSIC FESTIVAL]

クラシック音楽の普及に向けて、子どもと一緒に親子がクラシック音楽に親しむ為の普及事業「Y-Classic 子ども青少年クラシック音楽普及事業」を開催した。

現在のコンサート市場を支えている主要な世代はシニア世代であることを踏まえ、次世代を担う子どもを中心とした青少年に対して、親子でクラシック音楽に親しんでいただけるよう、会員各社の主催・開催する公演に加え、全国で展開されている子どもや親子向けのコンサートを集め、広告知を行い、クラシック音楽が持つライブ感、新しい魅力を発見できるような機会の充実を目指す普及活動を行った。

名 称 Y-Classic（子ども青少年クラシック音楽普及事業）

会 期 2018年7月14日～2019年1月20日

テーマ 「未来を担うこどもたちへ」

開催地 全国

参加公演数：52公演

(2) STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2018 への協力

クラシック音楽に対する敷居を下げ、裾野を広げる活動として、協会賛助会員のイープラスが新たに取組む屋外でのクラシックフェスティバルの開催に協会として協力実施した。

事業名 STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2018

日時 2018年9月23日（日・祝）開場/9:30 開演/10:30 終演/20:30

会場 横浜 赤レンガ倉庫特設会場 HARBOR STAGE、GRASS STAGE 他

概要 有料エリアの公演数 全10公演（無料エリアでのステージも多数開催）

観客動員数 有料エリア約6,000人、無料エリア含約30,000人 出演者総数300人以上

(3) JAPAN CLASSIC NAVI 〈ホームページの運営管理〉

協会のオフィシャルウェブサイト（JAPAN CLASSIC NAVI）の運営については、協会の実施する様々な事業紹介をはじめコンサートや研修会、オーディション等の最新情報の他、音楽文化振興事業等の社会的取組み等も紹介し、クラシック音楽の振興・普及に努めている。尚、課題となっているアーティスト・ホール等のデータベース化についてはガイドブックとの互換性、既存のサイトとの棲み分け等について課題を残すことから継続して検討・協議を行っている。

2、音楽関連人材育成事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽に関する人材育成として会員向けの研修会を年間二回開催する他、会員幹部間の人材養成の一環として経営懇談会及び女性部会を実施した。会員研修会では昨年度取り上げたテーマを更に掘り下げて実施し、クラシック業界のスタンダードを次年度に向けて取りまとめる方針である。

※会員研修会

第1回 テーマ「さまざまなお客様対応について」その2

日 時 平成31年1月25日（金）14時00分～16時30分

会 場 FORUM8 [渋谷区]

参加者 協会会員社 計20名

ゲスト 中村光政 (東京文化会館管理課課長補佐兼管理係長)

蓬澤宏哉 (サントリーホール副支配人兼運営・総務統括部長)

コーディネート 入山功一 (協会筆頭副会長/ (株) AMATI 代表取締役社長)

内 容 昨年度の様々な事例にくわえ、今回は主にJアラート発令時の対応、手荷物検査に関する事例、ハードクレームの対処法等について各ゲストより取組み状況を伺い、参加者からの質疑応答等、情報共有による意見交換を行なった。

第2回 テーマ「公演中止(延期)の対応策とキャンセル対処法」その2

日 時 平成31年3月7日(木) 14時00分~16時30分

会 場 FORUM8 [渋谷区]

参加者 協会会員社 計22名

ゲスト 堀田栄作 (関西二期会 事務局長)

本波 敏 (岩手県民会館 事業課)

桑野雄一郎 (弁護士・高樹町法律事務所)

コーディネート 入山功一 (協会筆頭副会長/ (株) AMATI 代表取締役社長)

内 容 自然災害による事例として、大阪北部地震によるオペラ公演の中止や歌手の体調不良による緊急降板の事例、東日本大震災による外来オーケストラの公演中止や演劇の出演者交代、ポピュラー公演の中止事例等をご紹介いただき、不可抗力の定義等についても触れ、業界としてのスタンダード策定に向けて意見交換を行なった。

※経営懇談会

第8回(通算) テーマ「今後のクラシック音楽界を考える」

日 時:平成30年5月31日(木) 16時00分~20時00分

会 場 協会事務局 会議室

参加者 協会会員社 計8名

内 容 今後のクラシック音楽界を考えると題し、会員各社の事業を取り巻く環境や現状、協会の存在意義や事業の在り方について意見交換が行われた。

※女性部会

第1回 日 時 平成31年3月19日(火) 16時00分~18時00分

会 場 協会事務局 会議室

参加者 協会会員社 計7名

内 容 女性経営者による意見交換の場として、過去の女性部会の取組みを踏まえ、協会として事業化を検討したいクラシックアワード等の社会におけるクラシック音楽の認知度等を踏まえ、女性ならではの視点でクラシック界を盛り上げるべく意見交換を行なった。

3、アーティスト連携事業 (定款第4条第1号関係)

(1) 地域創造連携事業

○公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)

一般財団法人地域創造の実施する公共ホール音楽活性化事業に制作協力して、全国の公共ホールに於けるクラシック音楽の普及と地域音楽文化の活性化を促進する為、同財団からの受託事業として登録演奏家のプレゼンテーションの実施を受託した。

※平成 30 年度公共ホール音楽活性化事業（全国 14 地域〈発展継続モデル事業含〉）で実施

※平成 30 年度登録アーティストによるプレゼンテーション

8 人（組）の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成 30 年 4 月 24 日（火）／会場：HAKUJU HALL（代々木）

○公共ホール音楽活性化支援事業（おんかつ支援）

公共ホール音楽活性化事業のフォローアップメニューとして、おんかつ事業実施ホールと OB・OG アーティストとの再マッチングにより、各地域でのおんかつ事業の継続を計る為の事業。おんかつ事業と同様に同財団からの受託事業として登録アーティストのプレゼンテーションを開催するとともに、平成 30 年度は全国 13 地域で実施した。

※登録アーティストによるプレゼンテーション

当協会会員社所属の全 92 人（組）の登録アーティストのうち、54 人（組）によるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成 30 年 7 月 31 日（火）・8 月 1 日（水）／会場：東京芸術劇場 B2F リハーサル室

○公共ホール音楽活性化支援・文化庁連携事業（文化庁連携）

公共ホール音楽活性化支援事業の継続事業である本事業は、アウトリーチの実施部分を文化庁の支援、コンサート部分の支援を地域創造のスキームで実施し、今年度は全国 9 地域に当協会会員社所属の登録アーティストの派遣を行った。

○公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業（フォーラム）

都道府県等との共催により、親しみのあるクラシック演奏会と、アウトリーチ手法に関する研修会を開催する事業の鹿児島県公演について、アーティスト派遣に関するマネジメント業務を実施するほか、平成 31 年度秋田県セッションの実施に向けた派遣アーティスト（アンサンブル）の選考会を行った。

※鹿児島セッション（鹿児島県の 4 つの自治体に今年一年をかけて二組のアンサンブルを派遣した）

※秋田セッション派遣アーティスト選考会（事業の実施は平成 31 年度）

【第一次選考会（音源・書類審査）】平成 30 年 10 月 16 日（火）／会場：地域創造会議室

【第二次選考会（実技・面接審査）】平成 30 年 11 月 16 日（金）／会場：昭和音楽大学北校舎

4、情報収集発信事業（定款第 4 条第 1 号関係）

(1) クラシック音楽事業ガイドの発刊に向けた編集作業と広報誌の発刊

※クラシック音楽事業ガイド

隔年発刊のクラシック音楽事業ガイド 2019-2020 を、2019 年 6 月末日に発刊すべく、会員各位の協力を経て編集作業を行った。尚、発行部数は前回に引き続き 1,500 部。

「クラシック音楽事業ガイド 2019-2020」

発行予定 2019 年 6 月末日・1,500 部 定価本体 952 円＋消費税別

発行所 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

編集 ガイド編集委員会 編集委員長 徳永英樹

※広報誌「ポンプ&クラシックス!」

広報誌「ポンプ&クラシックス!」については年間四回季刊として協会活動の報告や各種情報等を掲載し、併せて協会加盟会員を記載して発行した。又発行部数は各号 600 部とし、会員を始め官庁及び関係団体にも配布し、協会活動の広報の役割を担っている。

タイトル：広報誌「ポンプ&クラシックス!」／発行人：西村友伸 / 編集人：徳永英樹・堤正浩

第 20 号＝5 月末発行、第 21 号＝8 月末発行、第 22 号＝11 月末発行、第 23 号＝2 月末発行

又、広報誌と連携し、協会からのメールニュース配信についても月次配信の定期ニュースの他、会員情報、事業関係情報、関係官庁・団体の情報等リアルタイムな情報発信を行っている。

(2) チラシを活用した新規広報ツールの開発に向けた調査・研究

クラシック音楽の普及と新規顧客開拓に向け、賛助会員のイープラスと共同で取り組んでいるチラシを活用した新規広報ツール、スマートフォン向けのチラシアプリの開発については、構築委員会による検討、イープラスとの協議を踏まえ、事業名を「チラシクラシック」とし、10月25日にサービスの提供を開始した。

※事業名 チラシクラシック

開始日 2018年10月25日

運営主体 日本クラシック音楽事業協会

運営事務局 チラシクラシック運営事務局（株式会社イープラス内に設置）

内容 観客の高齢化が進むクラシック界において、新たなる観客（特にライト層や若年等）に向けた情報提供活動として、いつでもスマートフォンから全国で実施されるクラシックコンサートのチラシが無料で閲覧できるサービス。

概況（10月25日～3月31日までの約半年の実績）

- ・インストール数：5,272
- ・掲載チラシ数：1,708
- ・主催者数：318主催者／342名
- ・1日当りの掲載公演数：2019/3/31の掲載数は517
- ・平均チラシ掲載期間：82.2日
- ・セッション数：29,827（アプリの起動数）
- ・スクリーン数：348,009（画面数）
- ・セッション別：11.67（1回平均画面数）
- ・平均セッション時間：03分56秒（1回あたりの利用時間）
- ・年代 18-24：27.5% 25-34：33.5% 35-44：15.5%
45-54：12.5% 55-64：5.5% 64以上：5.5%
- ・性別 男性：54.15% 女性：45.85%

尚、導入前に昨年度に引き続き今年度は計2回の構築委員会を開催した。

第3回構築委員会 5月25日（金）14:30～ イープラス会議室〔渋谷区〕出席者：委員他13名

第4回構築委員会 8月10日（金）14:30～ イープラス会議室〔渋谷区〕出席者：委員他10名

5、音楽文化振興事業（定款第4条第2項関係）

(1) 文化芸術推進フォーラム

当協会を始め、芸術文化関係団体20団体で構成する文化芸術推進フォーラムでは、文化芸術振興議員連盟（会長河村建夫元文科大臣）と共に、文化芸術が社会において果たしうる役割を十二分に発揮していくことを目指し、文化芸術振興基本法や劇場法等の理念の浸透、啓発、政策提言等の活動を行っており、平成30年度は以下の活動等を当協会も参画して実施した。

※文化芸術省の創設に向けた活動

「五輪の年には文化省」に向け、文化芸術推進フォーラムでは提言を取り纏めて、文化芸術振興議員連盟と共に活動を推進してきた結果「文化省創設」に関する付帯決議が衆議院文部科学委員会、参議院文教科学委員会にてそれぞれ採択された。これらの実績を踏まえ、12月25日には文化芸術振興議員連盟と共に首相官邸の菅内閣官房長官に対し「文化芸術省」の創設を政府に提言した。

※連続フォーラム BIG WAVE FOR ARTS「今こそ文化省!」の実施

文化行政の機能充実、予算組織体制の更なる拡充を通じた文化芸術を中心に据えた新たな国づくり、社会づくり、人づくりを目指して、計6回の連続フォーラムを開催した。

第1回 10月20日（土）芸術の創造、政策、経済、助成

第2回 10月30日（火）デジタル時代、芸術創造の新たな大循環を

第3回 11月5日（月）劇場、音楽堂等の地域における新しい役割

第4回 11月7日（水）チケット高額転売の現状と規制法案を語る

第5回 11月13日（火）日本の伝統音楽の世界への発信が危機に

第6回 11月15日（木）アジアの文化政策に学ぶ

※文化行政の機能強化に関する勉強会

新・文化芸術振興基本法の成立を念頭に 2017 年 6 月～2018 年 4 月まで計 8 回の勉強会に参加。

※文化省創設実現に向けての勉強会

文化省の創設に向けた文化行政を研究するため 2018 年 6 月から 11 月まで計 6 回の勉強会に参加。

(2) 音楽芸術マネジメント学会

日本音楽芸術マネジメント学会の活動については、役員を派遣する他、年二回の研究会の開催にも協力しており、クラシックコンサート界の人材育成・調査研究等について産学連携を構築している。

※第 10 回夏の研究会

シンポジウム [日本から世界へ～日本各地の音楽芸術創造と発信のあり方を考える]

2018 年 7 月 21 日 (土) 会場:大阪音楽大学 100 周年記念会館 (K 号館) パイプオルガン演習室

※第 11 回冬の研究大会 (各種研究報告とシンポジウム)

シンポジウム 1 「音楽批評の今日的役割」 /シンポジウム 2 「文化芸術への助成制度を考える」

2018 年 12 月 15 日 (土) 会場:昭和音楽大学南校舎

6、国際交流事業 (定款第 4 条第 2 項関係)

(1) F A C P (アジア文化芸術交流促進連盟) 2018、第 36 回年次総会 [釜山] の開催

F A C P の年次総会にあたり、協会から茂田雅美会員 (FACP 会長) はじめ、福田監事 (FACP 日本事務局長)、下八川副会長、佐藤監事、二瓶会員、中坪会員等、多くの会員が参加した。

※第 36 回 F A C P 2018 年次総会 in 釜山

会期 2018 年 11 月 1 日 (木) ～11 月 4 日 (日)

会場 海雲台 (ヘウンデ) グランド ホテル (韓国:釜山)

主催 F A C P (Federation for Asian Cultural Promotion)

7、企業イベント制作事業 (定款第 4 条第 3 項関係)

(1) 宝くじ文化事業

※宝くじドリーム館 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの販売促進及び普及宣伝に向けた普及型コンサートを、東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間 11 回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間 11 回それぞれ開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとコンサートを通じたクラシック音楽普及活動を行なった。尚、東京の全 11 回の合計来場者数は約 4000 人。又、大阪の全 11 回の合計来場者数は約 3000 人。

宝くじドリーム館東京・大阪 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの開催

東京ドリーム館は 8 月を除いて原則毎月第三水曜日の 12:00 ランチタイムに開催。

大阪ドリーム館は 8 月を除いて原則毎月第三木曜日の 16:00 トワイライトで開催。

[出演者の所属会員]

アスペン、AMATI、1002、オカムラ&カンパニー、コンサートイマジン、日本オペラ振興会、プレルーディオ、プロ アルテ ムジケ、ミリオンコンサート協会 他

尚、出演者の選定については、宝くじと言う公益性を重視して、公共ホール音楽活性化事業の登録アーティストを中心に選出している。

※年末ジャンボ宝くじ抽せん会アトラクションの制作

年末ジャンボ宝くじでは 12 月 31 日の抽せん会後のアトラクションにてクラシックコンサートが実施される事となり、当協会が制作の一部を受託した。来場された多くの宝くじファンに対して、クラシックコンサートの魅力をアピールする音楽普及活動を行なった。

12 月 31 日 (月) 抽せん会 10:30 開場/10:45 開始 (アトラクション 14:00 開始)

東京オペラシティコンサートホール

II 会議等の開催、委員会の報告、会員数の状況、その他の概況（平成30年度）

1、会議等の開催、委員会の報告

○総会

定時会員総会 6月15日（金）13時30分 東京・新宿区 東京オペラシティ 7F 第6会議室

○理事会

第1回定例理事会 5月24日（木）15時00分 東京・新宿区 東京オペラシティ 7F 第5会議室
第2回定例理事会 1月11日（木）14時00分 東京・品川区 ホテルマイステイズ五反田駅前ヴェント
第3回定例理事会 1月10日（木）13時00分 東京・渋谷区 eplus LIVING ROOM CAFE&DINING
第4回定例理事会 3月8日（金）14時00分 東京・品川区 ホテルマイステイズ五反田駅前ヴェント
第1回臨時理事会 8月3日（金）決議の省略による 議案:主たる事務所の移転決議

○執行役員会（会長・筆頭副会長・副会長・専務理事・常任理事）

第1回執行役員会 5月24日（木）14時00分 東京・新宿区 東京オペラシティビル 7F 第5会議室
第2回執行役員会 10月11日（木）13時00分 東京・品川区 協会事務局会議室
第3回執行役員会 3月8日（金）13時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

○統括執行役員会（会長・筆頭副会長・専務理事・常任理事）

第1回統括役員会 1月10日（木）12時00分 東京・渋谷区 eplus LIVING ROOM CAFE&DINING

○マネジメント部会

国際租税条約に関する二重源泉税問題について、租税条約締結国間の法人源泉の二重課税問題を再調査し課題を検証すべく活動を実施している他、協会の主要事業者であるマネジメント会員の拡大に向けた取り組みを推進している。

○ホール部会

昨年度実施した「ホールの影アナウンス」に関するアンケート調査を分析し、緊急時の対応策やマナー普及に向けた取り組みとして、次年度の「スマイル&ハーモニー事業」に繋げる活動を検討している。

○教育・創造部会

音楽文化振興事業の（2）、に記載の活動を推進している。

○メディア部会

情報収集発信事業の（2）に記載の活動を推進している。

○オペラ部会

加盟会員のオペラ三団体と協働、連携して、会員拡大や声楽のコンテンツ開発に取り組んでいる。

○関西地区連絡協議会

関西地区会員は今年度の計3回の協議会及び懇親会と2回のワーキンググループミーティングを開催した。

※ 7月19日（木）10時30分 大阪・北区 ザ・シンフォニーホールホール 会議室

参加者 関西地区会員、協会役員含 計18名

- 内 容 関西の芸術文化振興に向けた協会の提言について
- ※ 10月26日(金) 15時00分 大阪・北区 ザ・シンフォニーホールホール 会議室
参加者 関西地区会員、協会役員含 計9名
内 容 第1回ワーキンググループミーティング
- ※ 12月12日(水) 15時00分 大阪・北区 ザ・シンフォニーホールホール 会議室
参加者 関西地区会員、協会役員含 計9名
内 容 第2回ワーキンググループミーティング
- ※12月12日(水) 18時00分 大阪市・北区 一笑
参加者 関西地区会員、協会役員含 計14名
内 容 年末の懇親会として開催
- ※2月12日(火) 17時00分 大阪市・北区 フェスティバルホール内会議室
参加者 関西地区会員、協会役員含 計20名
内 容 関西の芸術文化振興に向けた協会の提言案のご確認 他

○役員選任委員会

平成31年度の定時会員総会を以て、現役員任期が満了する事から、平成31・32年度を任期とする役員を選出する為、西村会長は定款及び役員選任規程等に沿い、役員選任委員会(委員長:徳永英樹)を設置し、同委員会では立候補・推薦の受付、予備選挙を執り行い、次期役員候補を選出し理事会に答申した。

第1回役員選任委員会 1月28日(月) 13時00分 東京・協会事務局

第2回役員選任委員会 4月2日(火) 11時00分 東京・協会事務局

2、会員・役員の移動状況報告

平成30年度の会員数

	平成30年4月1日	平成31年4月1日	増減
正会員A	6	6	0
正会員B	31	30	-1
正会員C	6	10	+4
賛助会員	50	43	-7
名誉会員	0	0	0

入会者:正会員C=株式会社トッパンホール

退会者:正会員B=株式会社音楽芸術家協会

賛助会員=株式会社オペラ王国社、株式会社フロレスタン、一般財団法人ヤマハ音楽振興会
株式会社電通ミュージック・アンド・エンタテインメント

移行者:賛助会員より正会員Cへ=Kトレーディング株式会社、株式会社オカムラ&カンパニー、
株式会社オフィスフォルテ

平成30年度の役職員数

	平成30年4月1日	平成31年4月1日	増減
理事	15	15	0
監事	3	3	0
顧問	2	2	0
参与	3	3	0
職員	2(役員兼務1名含む)	2(役員兼務1名含む)	0

理事の交代、平成30年度定時会員総会にて池田徹雄氏が退任し後藤二郎氏が就任
理事定数14名以上18名以内、監事2名又は3名、顧問・参与各4名以内

3、心の復興音楽基金の活動

東日本大震災の被災者支援の一環として協会内に設置された「心の復興音楽基金」の活動は、運営委員会（委員長：福田成康）により、基金の趣旨、支援規程等に沿い、支援活動の公募を行い、平成30年度については、以下の7事業に総額約1,828,038円の支援を行った。尚、平成28年4月に発生した熊本地震の被災者支援も対象に含めて支援を行なっている。

※支援先・支援額（申請額）一覧 ※実施順

- ・ 逢えてよかったね 友だちプロジェクト 7月27日～29日 気仙沼市での支援コンサート 300,000円
- ・ 一般社団法人ブラームスホール協会 8月5日 名取市での支援コンサート 284,360円
- ・ 学校法人東北文化学園大学 12月2日 仙台市での支援コンサート 300,000円
- ・ 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 12月5日 南三陸町での支援コンサート 46,760円
- ・ 株式会社ジャパン・アーツ 12月10日～14日 七ヶ浜での支援アウトリーチ 296,918円
- ・ 一般社団法人ブラームスホール協会 2月10日 名取市での支援コンサート 300,000円
- ・ 株式会社ジャパン・アーツ 3月9日 被災地の高校生出演のチャリティコンサート 300,000円

4、クラシック音楽の普及、関係団体との連携・協力に向けた活動

(1) クラシック音楽の普及（事業を取り巻く環境変化に伴う取組み等）

- ・ 元号改正への円滑な移行に向けて
2019年5月1日の改元に向けて、各種情報システムの取組状況を踏まえ、改修作業等が円滑に進められるよう注意点等の周知を行なった。
- ・ 消費税率の引上げに伴う価格改定について
2019年10月1日から消費税率が引き上げられることに伴い、会員各位が柔軟な価格付けが出来るよう価格設定ガイドラインの周知を実施し、円滑な移行に向けた準備を推進した。
- ・ 著作権の70年延長について
2018年12月30日にTPP協定の発行により、著作物の保護期間の延長を含めた著作権法改正が同日から施行され、著作権の保護期間が死後50年から70年に延長された事に伴い、会員各位の事業がスムーズに実施されるよう論点を整理し改正法の周知をはかると共に、侵害罪の一部が非親告罪化される点等について注意喚起を行なった。
- ・ チケット高額転売規制法（略称）の施行に向けて
2018年12月8日に成立したチケット高額転売規制法（略称）が2019年6月14日に施行される事から、法整備の背景を踏まえ対象となるチケットの定義等論点を整理し、会員各位に周知を行なうと共に、導入に向けて関係機関と連携し、スムーズな施行に向けた取組みを実施した。

(2) 関係団体との連携・協力

- ・ 全国中小企業団体中央会（経済産業省・中小企業庁関係組織）に加盟して活動を推進している。
- ・ 文化芸術推進フォーラムに加盟して文化芸術の振興に向けた活動に協力している。
- ・ 音楽産業文化振興財団に加盟して事業を推進する他、善積参与を評議員として派遣している。
- ・ 子ども達と芸術家の出会う街ネットワークの構成団体として参画する他、丹羽常任理事を監事として派遣し事業に協力している。
- ・ パシフィックミュージックフェスティバル組織委員会の顧問に西村会長が就任し活動を推進している。
- ・ 仙台国際音楽コンクール組織委員会の委員に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。
- ・ 日本音楽芸術マネジメント学会の理事に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。

(3) 後援名義等の許可状況

平成30年度は以下の4事業について当協会として名義後援を行った。

申請者：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2018 運営委員会 事業名：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2018

申請者：公益財団法人仙台市市民文化事業団 事業名：仙台クラシックフェスティバル 2018

申請者:株式会社ザ・シンフォニーホール 事業名:関西紅白オペラ歌合戦

申請者:公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 事業名:実演芸術国際シンポジウム 2018